

こうのす民報

議会報告版

2020年1・2月号 第408号

日本共産党鴻巣市委員会の見解を紹介します。

日本共産党鴻巣市議団
竹田えつ子 すわみつえ
 ☎542-7072 ☎507-4151
 FAX542-7101 FAX596-9440

3市(鴻巣・行田・北本)での ごみ処理施設が白紙に

鴻巣・行田・北本の3市で進めてきたごみ処理施設は、建設候補地をめぐり、3市での合意が難しくなり、12月12日正副管理者は、ごみ処理施設事業を白紙にしました。今後、議会での手続きが必要になります。

日本共産党はこれまで、建設候補地は、後背湿地といわれる沼地であること、「候補地ありき」の選定疑惑があること、建設事業費がなかなか公表されず、10月28日に示された概算事業費が611億4000万円と高額であることなど、問題が多い事業であると指摘し議会で取り上げてきました。

市民の皆さんは、適切な場所に地球環境にやさしいコンパクトなごみ処理施設を望んでいると思います。情報を公開し、市民参加で良いごみ処理施設を造るために、日本共産党は、これからも共同の運動を進めていきます。

2020年4月より新たに 8施設を指定管理で運営

鴻巣・赤見台・赤見台第一・赤見台第二・箕田・あたご・笠原・常光放課後児童クラブ

民間の保育の専門性やノウハウを活用するという理由で、公設公営の放課後児童クラブを指定管理にし、公設民営にしていく議案が賛成多数で可決されました。2施設のみを残し、鴻巣市は全ての放課後児童クラブを民間で運営することになります。

市が直接雇用している41名の支援員が退職することになります。新たに指定管理を請け負う事業者と雇用の約束がされ、今までどおり子どもたちの保育ができるといわれています。例えば、5年後にその事業者が引き続き指定管理を継続できるのか、雇用の継続が約束できるのか疑問です。



市議会議員 竹田えつ子



新しい年をいかがお迎えでしょうか。今年、東京オリンピックの年です。日本が国際的にも大変注目される年になると思います。「化石賞」に象徴されるように温暖化対策に背を向ける国、福島原発事故は何も解決されていないのに、オリンピックを招致した安倍首相。一方、昨年のラグビー世界大会に象徴されるように、国民の温かいボランティア活動は大きな評価を受けています。政治をよくする力は国民の中にあると思います。今年も、市民と野党の共同の運動をさらに大きく強くして、一刻も早く安倍政治をやめさせるために力を尽くしていきます。

市議会議員 すわみつえ



2020年を、歴史の扉が大きく開く年にするために、皆さんとともに力をつくす決意です。子どもたちが楽しみにしているお年玉を使うときにも10%減らされた年金で生活するうえにも10%の消費税で、お財布のひもが固くなるのは当たり前です。消費税は社会保障のためというながら、国保税・介護保険料は上がる一方です。さらに、75歳以上の医療費窓口2割負担、介護保険サービスのさらなる利用制限が検討されています。これ以上、安倍自公政治を続けさせては、くらしも経済も壊されてしまいます。市民と野党の共同が大きく進んだ今、国民の手に政治を取り戻していきましょう。

3月議会日程(予定)

- 2月20日(木) 請願締切り(正午)
- 2月26日(水) 本会議 議案・請願の上程
- 3月 3日(火) 本会議 代表者質問
- 3月 4日(水) 本会議 質疑、討論、採決
- 3月 5日(木) 6日(金) 文教福祉常任委員会 まちづくり常任委員会
- 3月 9日(月) 10日(火) 政策総務常任委員会 市民環境常任委員会
- 3月11日(水) 12日(木) 16日(月) 17日(火) 一般質問
- 3月19日(木) 本会議 委員長報告、質疑、討論、採決



市民と野党の共同で 新しい政治実現を



衆議院議員
塩川てつや



参議院議員
伊藤 岳



前衆議院議員
梅村さえこ

みなさん、新しい年をいかがお過ごしでしょうか。

「桜を見る会」疑惑。安倍政権が「餅を食ったら忘れる」なんて思っているのならとんでもありません。安倍首相自身の公民権停止5年となる公職選挙法違反をはじめ、さまざまな違法行為の可能性がある重大疑惑です。「逃げ切り」を絶対に許さず、徹底追及を最後までやり抜く決意です。国政私物化、憲法破壊の安倍政権を、いつまでも続けさせるわけにはいきません。市民と野党の共同を進展させ、安倍・自公政権にかわる新しい希望ある政治実現へ、力を合わせていきましょう。

来たるべき総選挙勝利へ、みなさんの先頭に立つてがんばります。

法律・生活相談

毎月第4金曜日13:30~15:00日本共産党鴻巣市委員会事務所
法律相談の場合あらかじめ予約をお願いします。問い合わせは竹田えつ子、すわみつえ



竹田えつ子議員

行政サービスの向上を 新ごみ処理施設の説明会を

公共施設の利用料金を値上げする なら、サービス向上をはかること

4月から、公民館やスポーツ施設などの利用料金が1.5倍から2倍に値上げになります。利用料金を値上げするのであれば、各公民館などにWiFi・健康麻雀セットの設置、公共施設のトイレの洋式化など、市民サービス向上をはかることを求めました。

市は、サービス向上として、公民館の貸し出しについても、オンラインで予約ができるよう整備を進めているとしました。

お悔やみコーナーの設置を

亡くなった後に遺族が行う行政手続きの負担を軽くしようと、鳥根県出雲市をはじめ

め、群馬県高崎市など、専用の窓口を設ける自治体が増えていきます。本市でも専用窓口を設けることについて質問しました。

ごみ処理施設建設について 市民説明会を開催すること

13日朝本会議前に、原口市長から、3市での建設事業は白紙にすることが報告されました。3市による建設事業は白紙になりますが、現在の候補地で進めようとする市の姿勢は変わっていないと思います。この場所で事業を進めることは、概算事業費が多額にかかることは想像できます。こうしたことも含め、市民説明会を開催することを求めました。

市は、今後の進展をみながら考えていくと答えました。

台風19号の被害対策の 教訓と課題

今回の台風19号の被害を受け、教訓と今後の課題について、情報収集と情報伝達、避難所の設置と対応などについて質問しました。

市が、今回の台風被害対策で、市民や職員から意見収集をして整理したところ、「暴風雨の中では防災無線が聞こえなかった」「近隣市からは緊急速報メールは頻繁に入ってくるが、鴻巣市からはなかった」「避難所にいたが台風の状態など情報が欲しかった」などの意見もありました。

今後これらの意見をもとに、地域防災計画を改定する作業の中で検討していくと答えました。

他に、鴻巣駅東口駅通り地区再開発事業について質問しました。

**本当がわかる
明日が見える**

しんぶん赤旗

- 日刊紙/月3,497円
- 日曜版/月930円

見本紙
お届けします



すわみつえ議員

豪雨に対応する治水対策 敬老会事業の充実を

気候変動による豪雨に対応 する抜本的な治水対策を

台風19号で大間調整池が溢れ幸町周辺に起きた浸水被害は、調整池の容量が不足しているのではないのかという市民からの指摘があります。

豪雨に対応できる治水対策として雨水事業計画の見直しの考えがあるか質問しました。市からは「平成29年の台風21号や今年の台風19号で受けた影響も考慮した雨水管理総合計画の見直しを行っており、事業計画説明会で住民の皆さんへの説明を行います。」という答弁です。

引き続き住民の皆さんが安心して住み続けられるよう、減災・防災の視点で取り組んでまいります。

公共施設ではグリホサート 除草剤でなく安全なものに

上谷総合グラウンド・吹上総合グラウンド等の体育施設で、世界的に問題点がクローズアップされているグリホサートを主成分とする除草剤が使用されていました。

また、屈巢・広田・共和放課後児童クラブなどでは「非農耕地用」除草剤を本年3月から8月にかけて使用しています。川里ポプラ館では、昨年より6月・8月にラウンドアップを使用していました。

他市の市民含めて多くの市民や子どもたちが利用する施設で、除草剤を使わない手立てはないか。やむを得ず使う場合には、より安全性の高い物に変える考えはないか質問しました。

市からは「利用者に対する影響が最小限になるよう努力します。」と答弁がありました。

除草時期となる頃に引き続き申し入れをしていきたいと思えます。

敬老会アンケートの結果で 財源を削ることがないよう求める

敬老会実施団体代表者宛に昨年11月15日に郵送され、11月29日回答期限でアンケートが行われました。敬老会の在り方についてということですが、財源まで問うような内容であるため、目的とその結果をどのように使うのか質しました。

市からは「結果を精査分析するとともに引き続き意見を聞いていきます。」との答弁です。

来年度の予算編成をしているタイミングに合わせるように行ったアンケートであることから、財源削減の材料とすることのないよう、また、本来の敬老会事業が真に高齢者に喜ばれる内容となるよう、今後も注視していきます。